

第2章 子どもと家庭を取り巻く状況

1. 子どもと家庭の現状

(1) 少子化の進行

① 人口

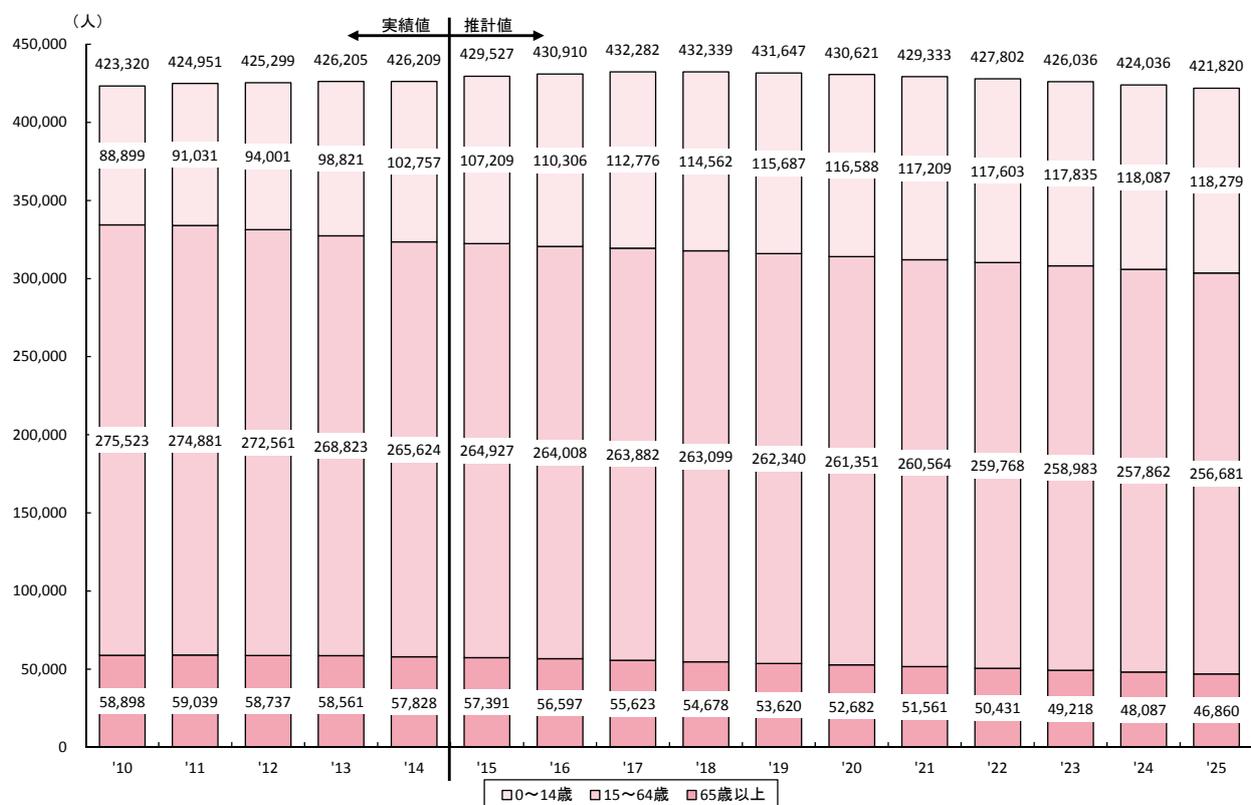
ア 人口・年齢3区分別人口

町田市の人口は一貫して増加しており、2004年には40万人を超え、2014年4月1日現在426,209人となっています。

年齢3区分別人口の推移をみると、15歳未満の年少人口は、2011年以降微減しています。15歳～64歳の生産年齢人口も毎年減少しているのに対し、65歳以上の高齢者人口は、毎年一貫して増加しています。

町田市の将来人口は、2018年まで微増すると予測されていますが、年少人口は今後も減少し続け、2023年には5万人を切ると見込まれています。

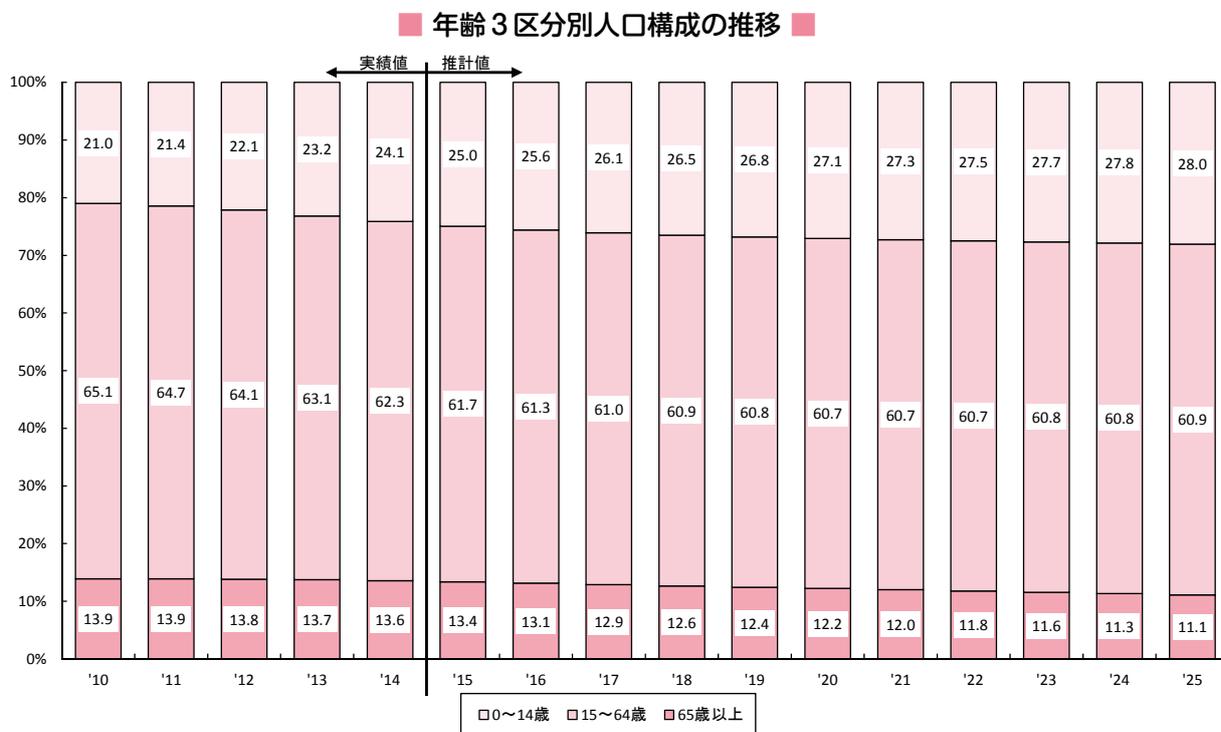
■ 年齢3区分別人口の推移と人口推計 ■



(注) 各年4月1日現在である。

資料：町田市「年齢別人口表」「外国人登録人口」

町田市の総人口に占める年齢3区分別人口の割合をみると、2014年現在年少人口が13.6%、生産年齢人口が62.3%、老年人口が24.1%となっており、全国の割合（年少人口12.2%、生産年齢人口59.5%、老年人口28.3%）に比べて、町田市は高齢者人口の割合が低く、年少人口及び生産年齢人口の割合が高くなっています。



(注) 各年4月1日現在である。
資料：町田市「年齢別人口表」「外国人登録人口」

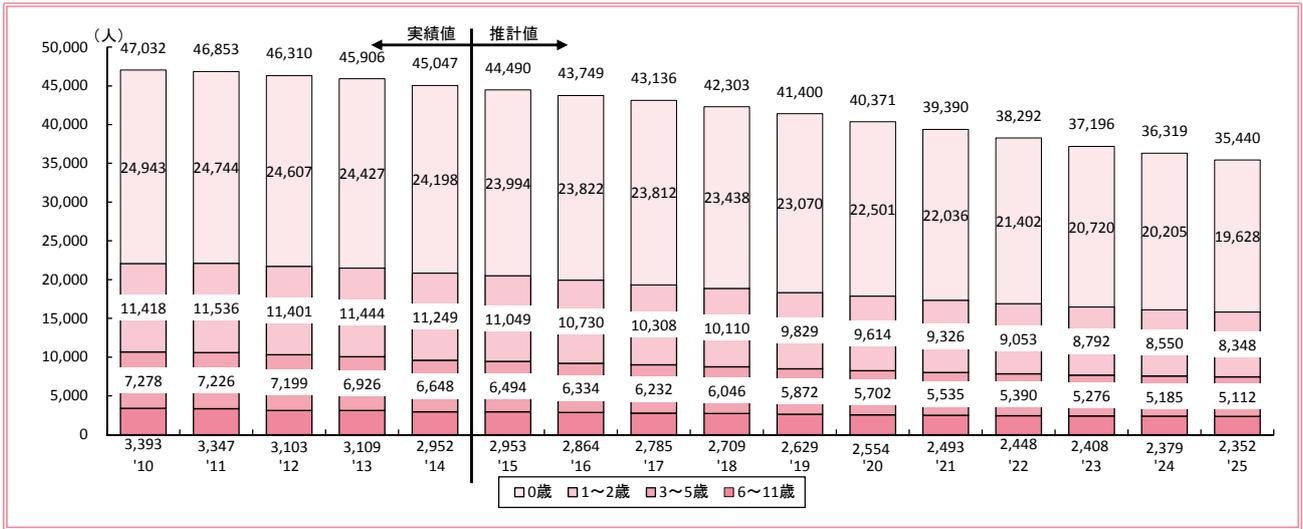
イ 子どもの人口（0～11歳：小学生まで）

町田市の子どもの人口は、毎年減少しており、2014年現在45,047人となっています。この減少傾向は、今後も続くと推計されており、2021年には4万人を切ると考えられます。

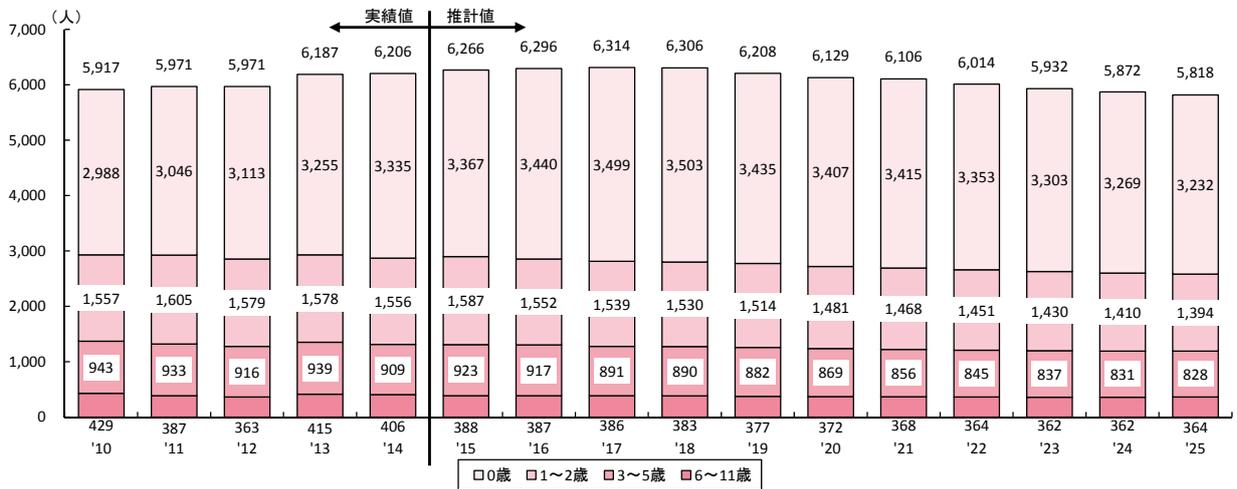
5地域別にみると、堺地域の子どもの人口は、増加傾向にあり、2014年現在6,206人となっています。この増加傾向は、2017年まで続き、以後減少していくと推計されています。

堺地域以外の4つの地域の子どもの人口は毎年減少しており、2014年現在、忠生地域は8,532人、町田地域は8,460人、鶴川地域は10,040人、南地域は11,809人となっています。この減少傾向は、今後も続くと推計されています。

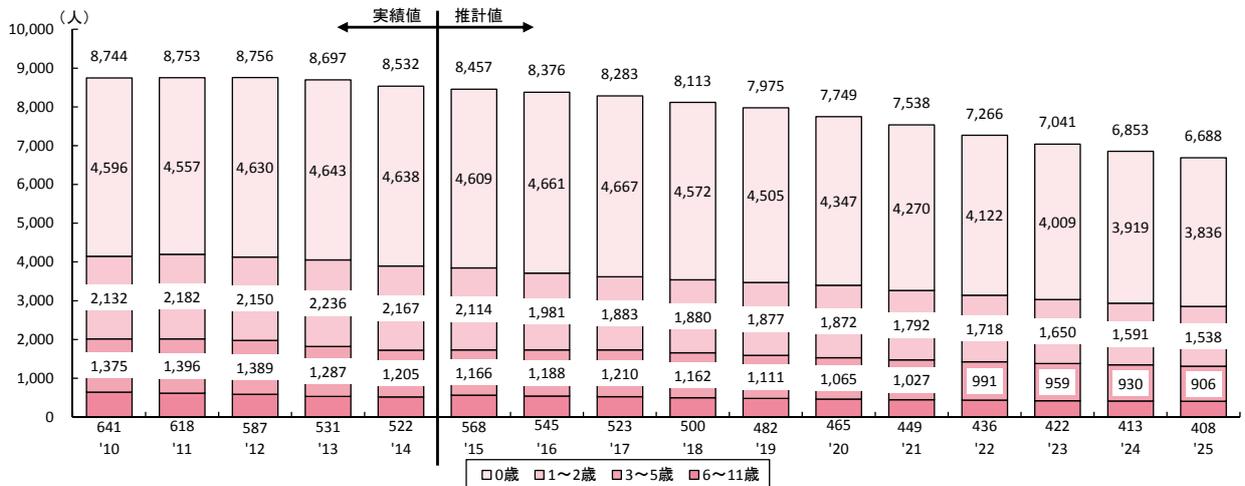
■ 年齢別子どもの人口の推移 ■ 【市全体】



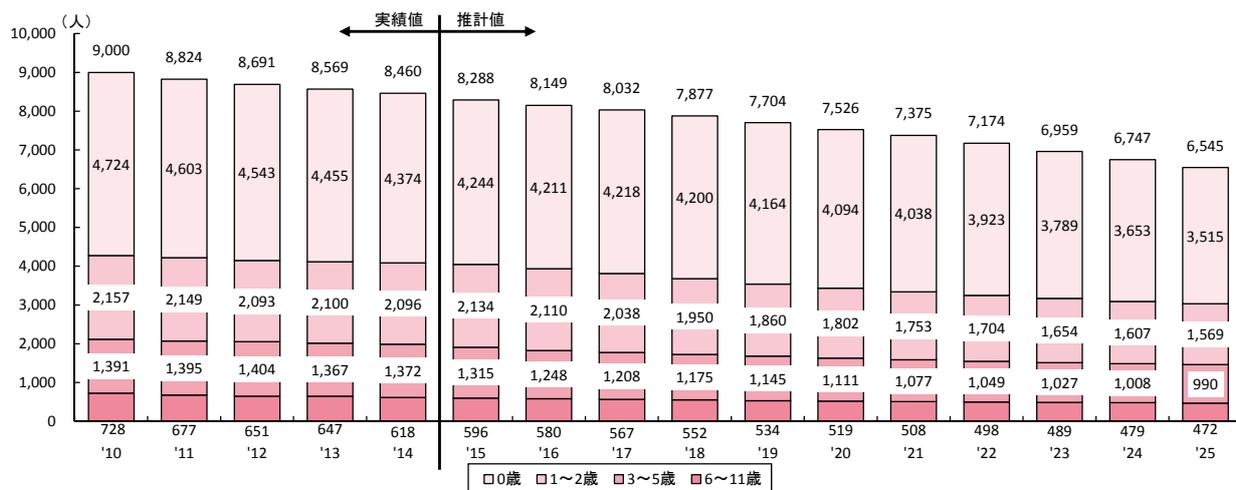
【堺地域】



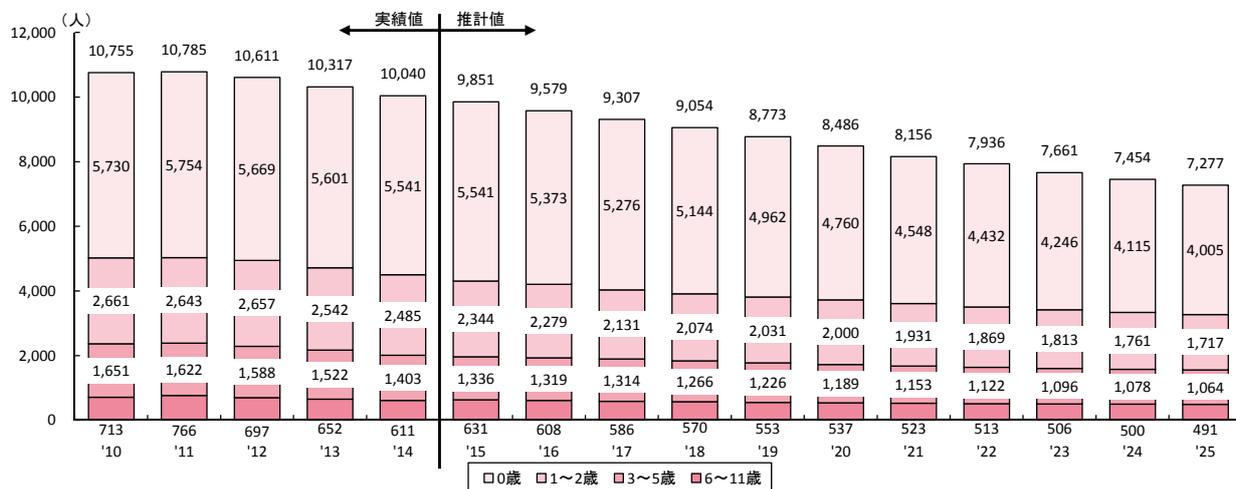
【忠生地域】



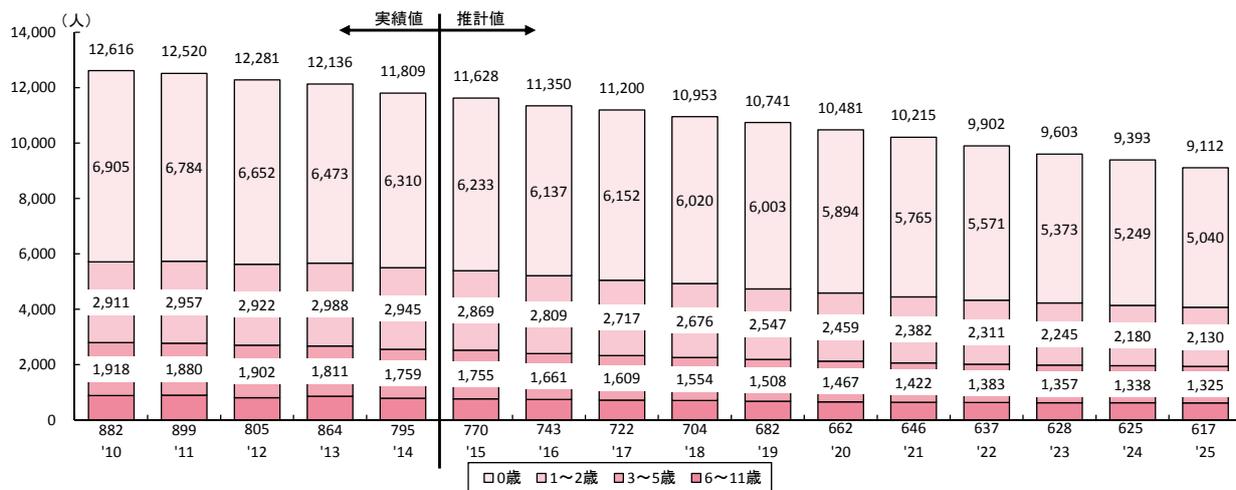
【町田地域】



【鶴川地域】



【南地域】



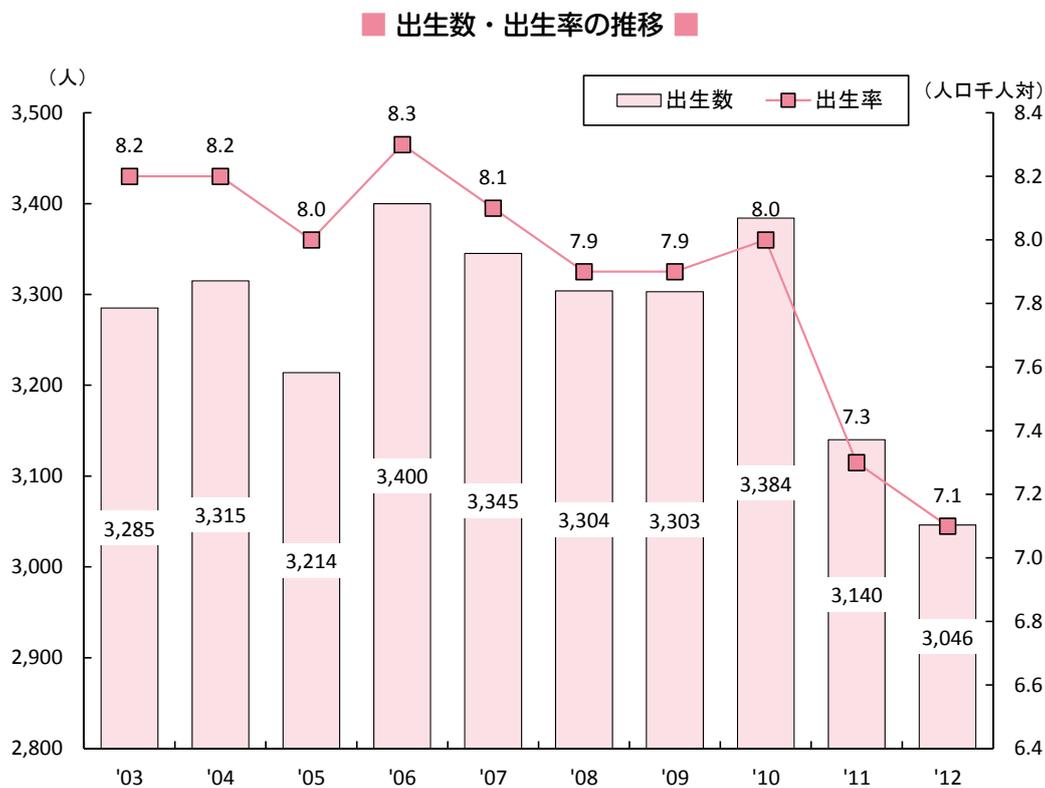
(注) 各年 4 月 1 日現在である。

資料：町田市「年齢別人口表」「外国人登録人口」

②人口動態

ア 出生数・出生率

町田市の2012年の出生数は3,046人となっています。毎年3千人台で推移していますが、2011年から減少傾向となっています。また、出生率も同じく低下しています。



資料：東京都「人口動態統計」

イ 合計特殊出生率*

町田市の2012年の合計特殊出生率は1.19となっています。東京都平均（1.09）は上回っていますが、東京都市部平均（1.24）、全国平均（1.41）より低くなっています。

■ 合計特殊出生率の推移 ■



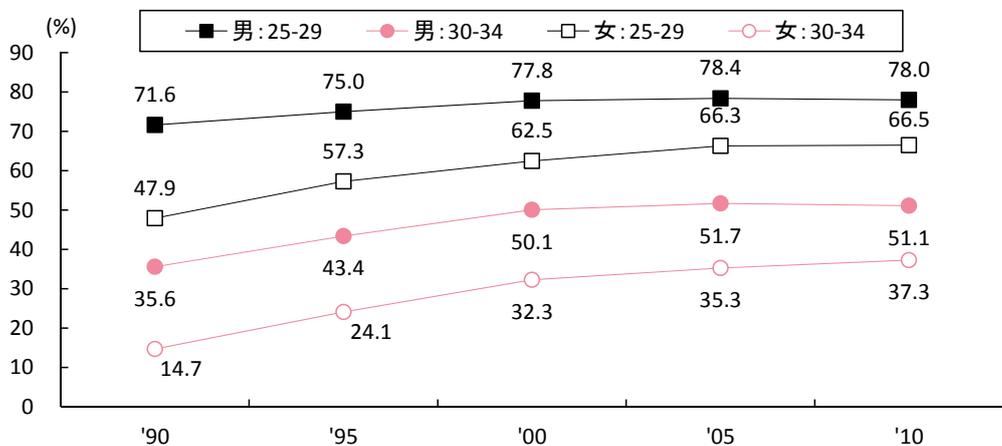
資料：東京都「人口動態統計」

③少子化の背景

ア 未婚率

少子化のひとつの要因として晩婚化の進行による未婚率の上昇があげられています。町田市の未婚率の推移をみると、上昇傾向にあることが伺えますが、近年、横ばい傾向となっています。

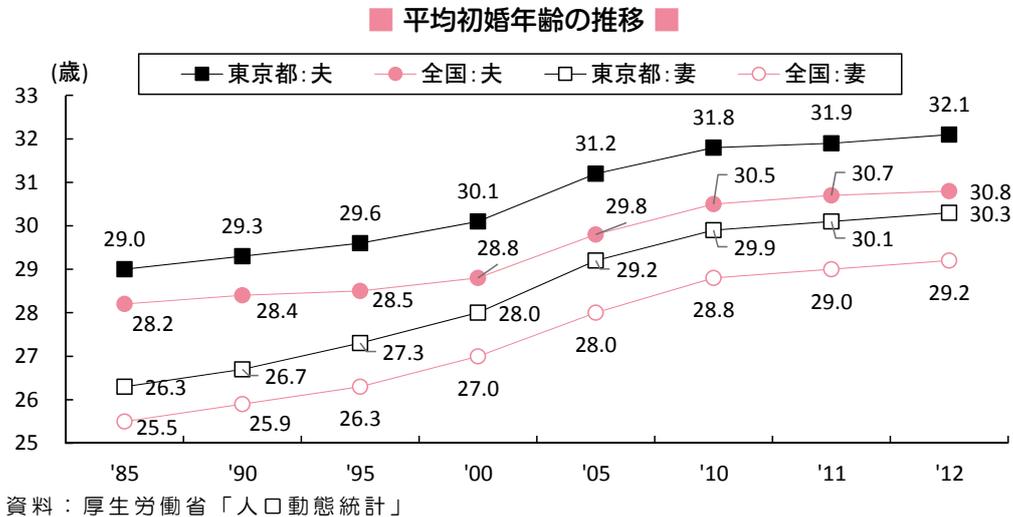
■ 年齢別未婚率の推移 ■



資料：総務省「国勢調査報告」

イ 平均初婚年齢

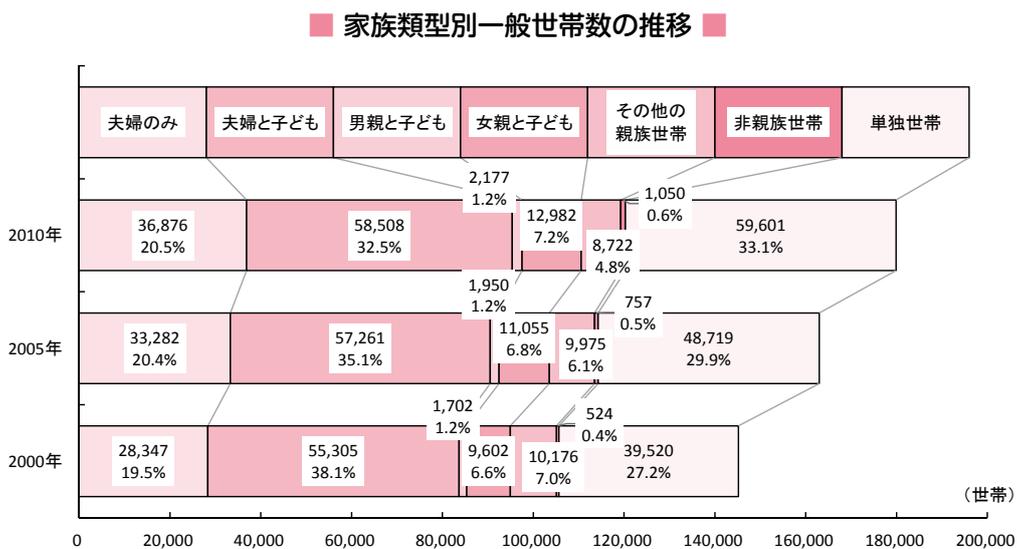
東京都における平均初婚年齢は、2012年現在、夫 32.1歳、妻 30.3歳で全国平均の夫 30.8歳、妻 29.2歳を上回っています。



(2) 子育て世帯の状況

① 家族類型別一般世帯数

2010年の国勢調査によると、町田市的一般世帯数は、179,923世帯となっており、増加傾向となっています。「夫婦のみ世帯」「単独世帯」などの世帯数・構成比率が増加する中、「夫婦と子ども」の世帯数は増加傾向にあるものの、構成比率は減少しています。

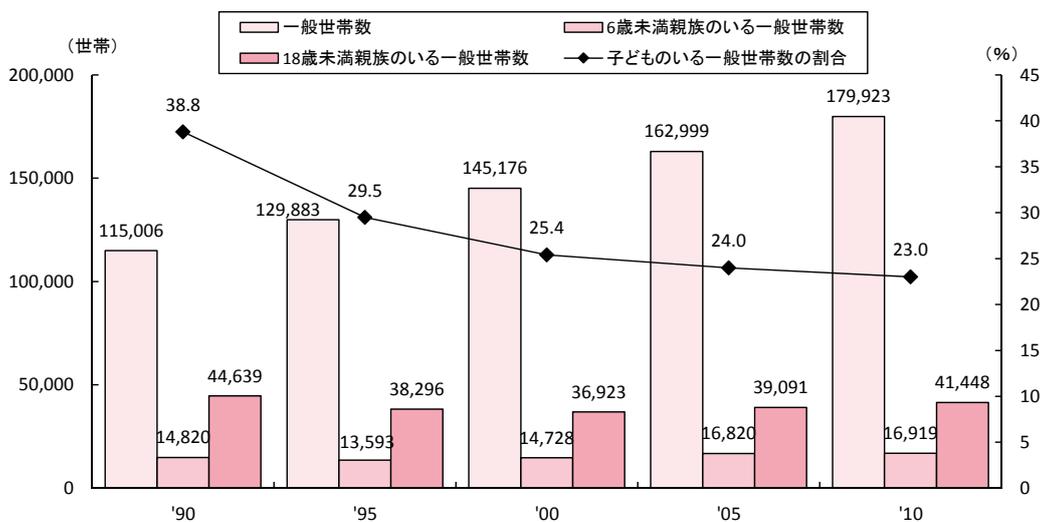


②子育て世帯の状況

町田市の「6歳未満親族のいる一般世帯数」は1995年まで、「18歳未満親族のいる一般世帯数」は2000年までそれぞれ減少傾向にありましたが、それ以降増加傾向となっています。

また、「子どものいる一般世帯数の割合」を1990年と2010年とで比較すると、1990年が38.8%と約3世帯に1世帯、2010年には23.0%で約4世帯に1世帯が子どものいる世帯となっています。

■ 子どものいる一般世帯数の推移 ■



資料：総務省「国勢調査報告」

■ 世帯の家族類型別一般世帯数の推移 ■

(単位：世帯、%)

区 分		1990年	1995年	2000年	2005年	2010年
18歳未満親族のいる一般世帯	合計	44,639	38,296	36,923	39,091	41,448
	夫婦と子ども	35,858 (80.3)	30,682 (80.1)	29,702 (80.4)	31,544 (80.7)	33,548 (80.9)
	ひとり親と子ども	2,587 (5.8)	2,463 (6.4)	2,948 (8.0)	3,502 (9.0)	4,321 (10.4)
	三世帯	5,156 (11.6)	4,184 (10.9)	3,280 (8.9)	2,826 (7.2)	2,142 (5.2)
	その他	1,038 (2.3)	967 (2.5)	993 (2.7)	1,219 (3.1)	1,437 (3.5)
6歳未満親族のいる一般世帯	合計	14,820	13,593	14,728	16,820	16,919
	夫婦と子ども	12,529 (84.5)	11,623 (85.5)	12,791 (86.8)	14,790 (87.9)	15,004 (88.7)
	ひとり親と子ども	283 (1.9)	379 (2.8)	597 (4.1)	670 (4.0)	784 (4.6)
	三世帯	1,760 (11.9)	1,333 (9.8)	1,049 (7.1)	974 (5.8)	620 (3.7)
	その他	248 (1.7)	258 (1.9)	291 (2.0)	386 (2.3)	511 (3.0)

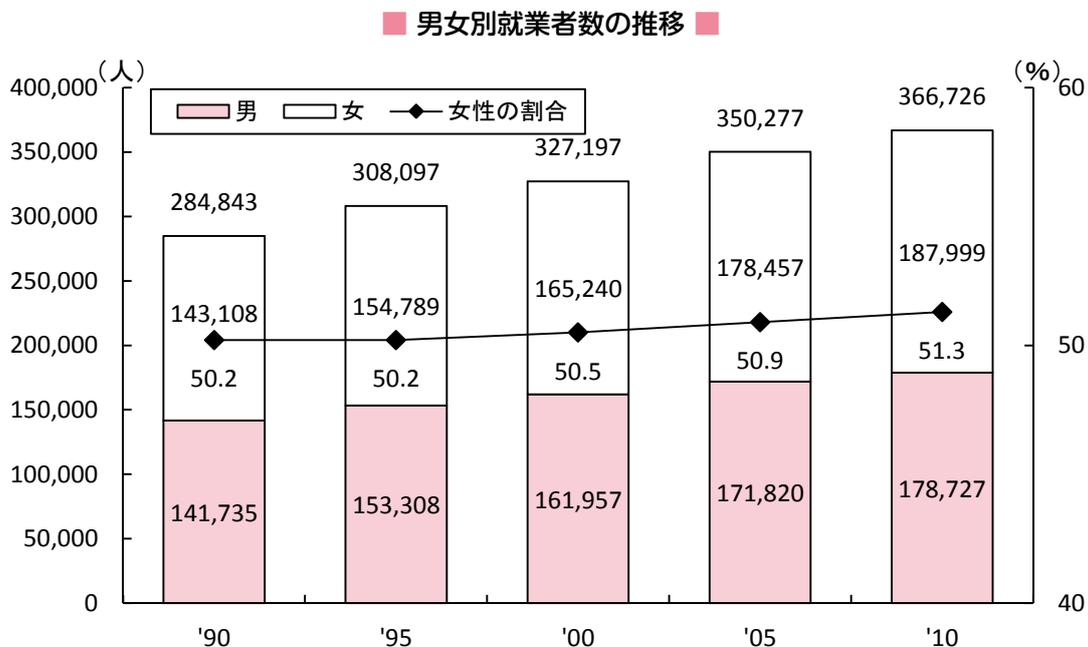
(注) () 内の値は、子どものいる世帯数に占める割合である。

資料：総務省「国勢調査報告」

(3) 働く女性の状況

① 女性の就業者数

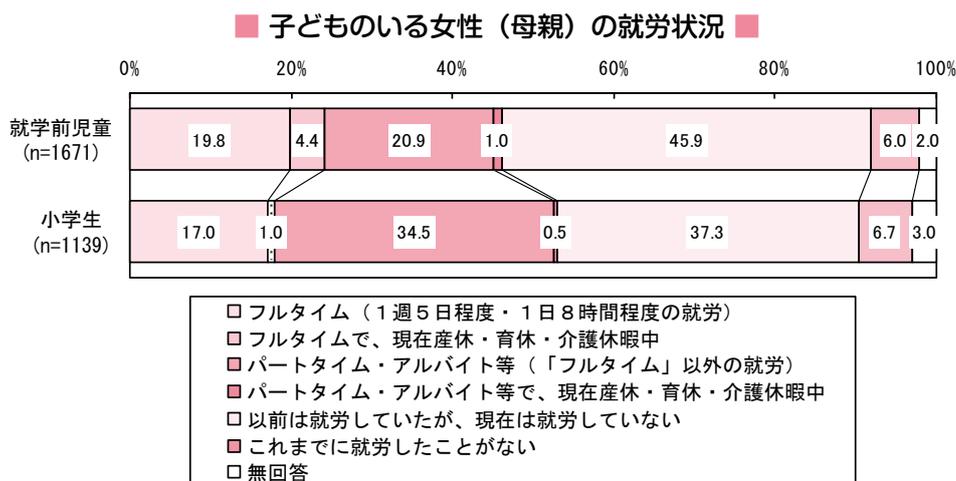
町田市の女性の就業者数は、2010年10月1日現在187,999人を数え、就業者全体の51.3%を占めています。また、1990年と比べて44,891人、31.4%増加しており、この間の男性就業者の増加率(26.1%)を上回っています。



資料：総務省『国勢調査報告』

②子どものいる女性（母親）の就労状況

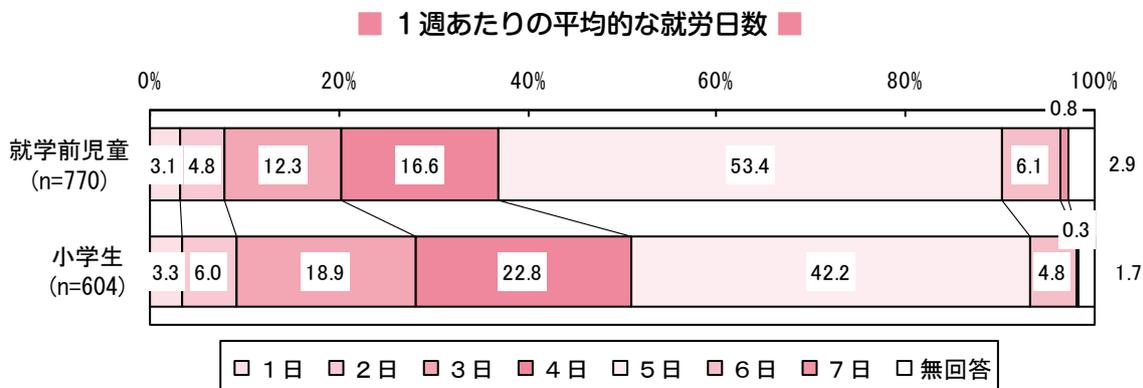
町田市の子どものいる女性（母親）の就労状況をみると、就学前児童の保護者では「フルタイム」「フルタイムで、現在産休・育休・介護休暇中」「パートタイム・アルバイト等」「パートタイム・アルバイト等で、現在産休・育休・介護休暇中」を合わせた“就労している”が46.1%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまでに就労したことがない」を合わせた“就労していない”が51.9%となっています。小学生の保護者では、“就労している”が53.0%、“就労していない”が44.0%となっています。



資料：『町田市子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査報告書』2014年3月

③1週あたりの平均的な就労日数

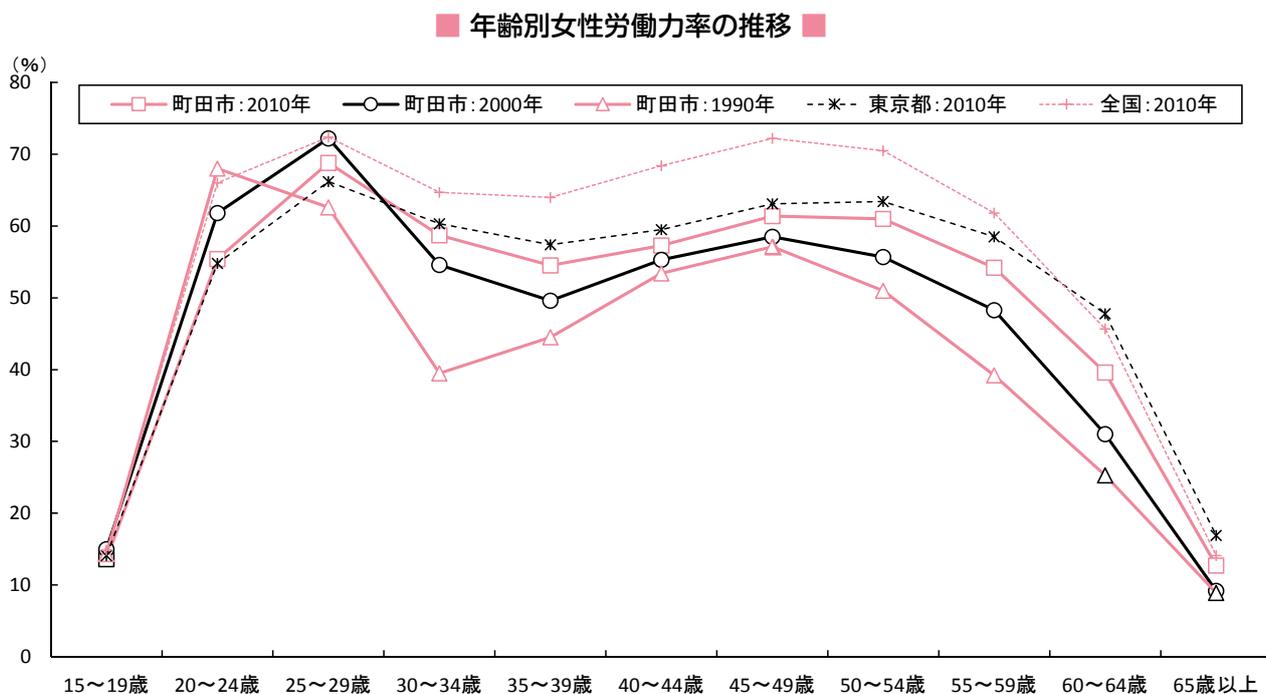
就労状況で“就労している”と回答した人の1週あたりの平均的な就労日数をみると、就学前児童の保護者、小学生の保護者ともに「5日」が最も多く（それぞれ53.4%、42.2%）、次いで「4日」（それぞれ16.6%、22.8%）、「3日」（それぞれ12.3%、18.9%）と続いています。



資料：『町田市子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査報告書』2014年3月

④ 女性の労働力

女性の労働力を年齢別にみると、25歳～29歳と45歳～49歳を頂点とし、35歳～39歳を谷とする浅いM字型を示しています。かつては結婚や出産を機にいったん仕事を離れ、その後再び就労する女性が多くみられましたが、現在では結婚・出産後も就労する人が増加しており、より緩やかなM字型となっています。

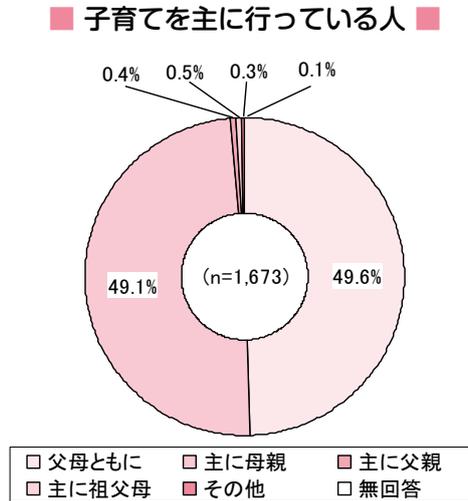


資料：総務省『国勢調査報告』

(4) 子育ての状況と子育て世帯のニーズ

① 子育てを主に行っている人（就学前児童）

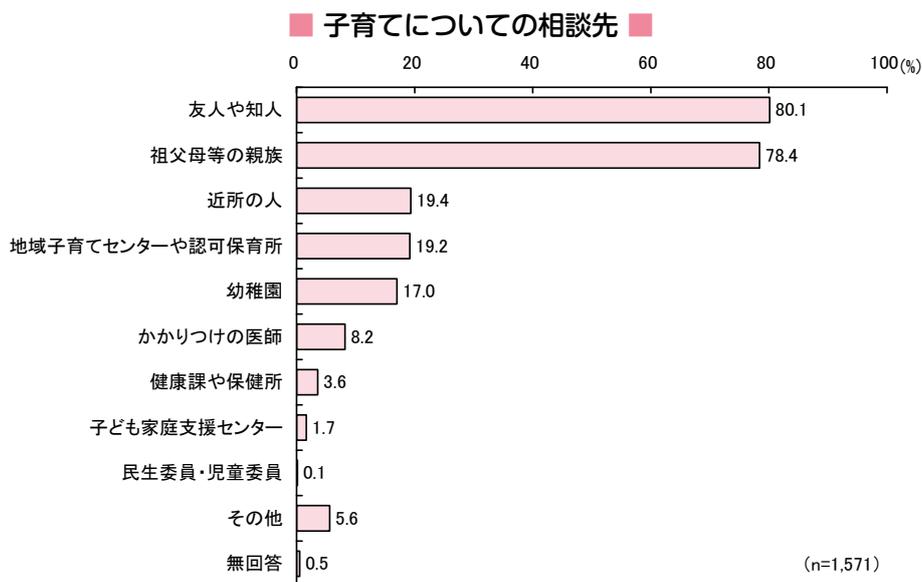
子育てを主に行っている人を見ると、就学前児童の保護者では、「父母ともに」が最も多く 49.6%、次いでほぼ同じ割合で「主に母親」が 49.1%となっています。



資料：『町田市子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査報告書』2014年3月

② 子育てについての相談先（就学前児童）

子育てについて気軽に相談できる人・場所が「いる/ある」と回答した人の相談先は、「友人や知人」が最も多く 80.1%、「祖父母等の親族」(78.4%) もほぼ同じ割合を示しています。次いで「近所の人」が 19.4%、「地域子育てセンターや認可保育所*」が 19.2%、「幼稚園」が 17.0%と続いています。

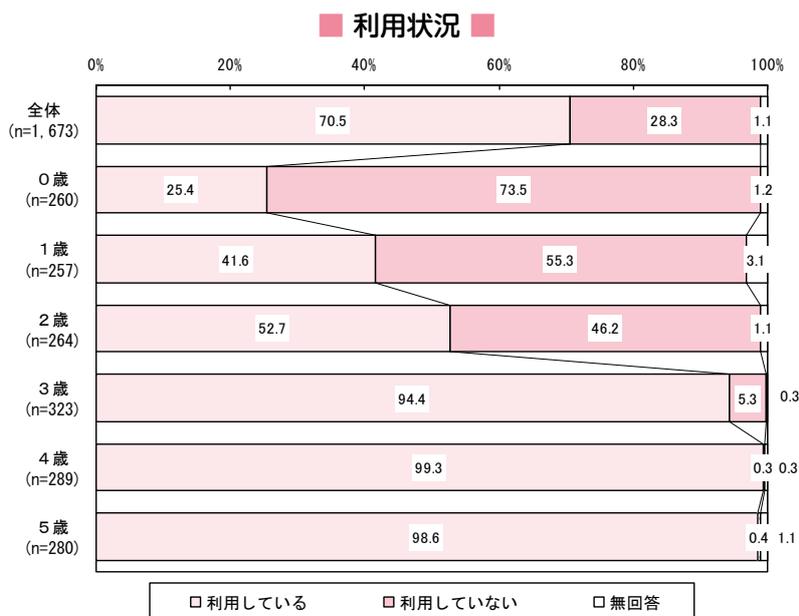


資料：『町田市子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査報告書』2014年3月

③平日の定期的な教育・保育事業の利用状況（就学前児童）

ア 利用状況

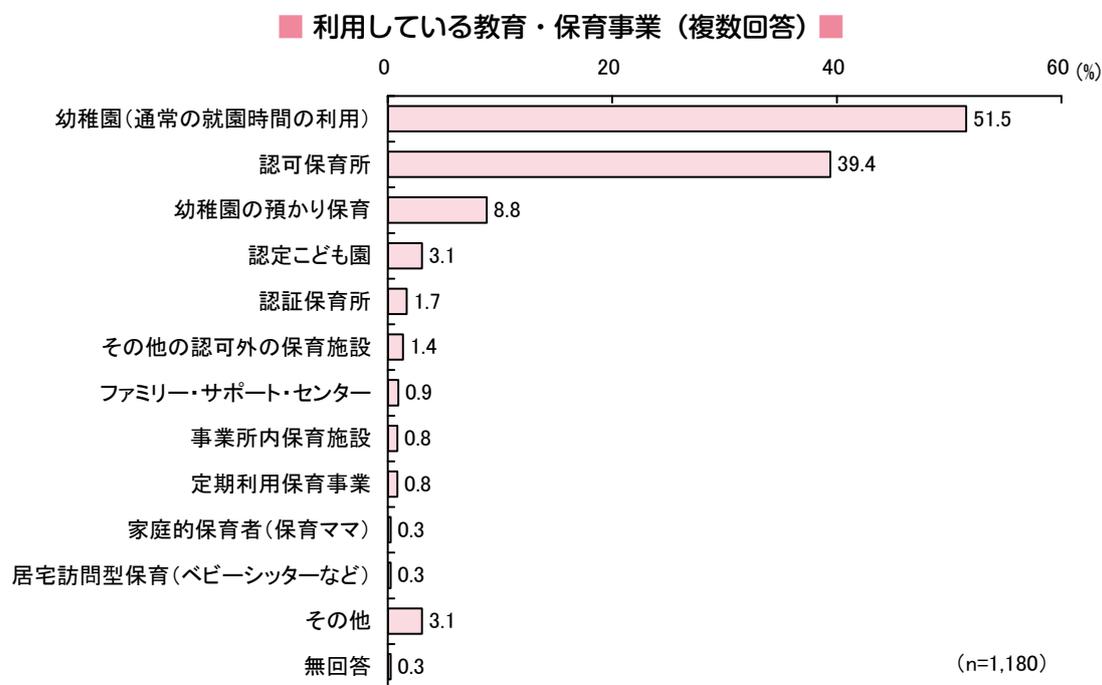
平日の教育・保育事業の利用状況をみると、「利用している」が70.5%、「利用していない」が28.3%となっています。子どもの年齢別にみると、「利用している」は、0歳児が25.4%、1歳児が41.6%、2歳児が52.7%、3歳児が94.4%、4歳児が99.3%、5歳児が98.6%となっています。



資料：『町田市子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査報告書』2014年3月

イ 利用している教育・保育事業

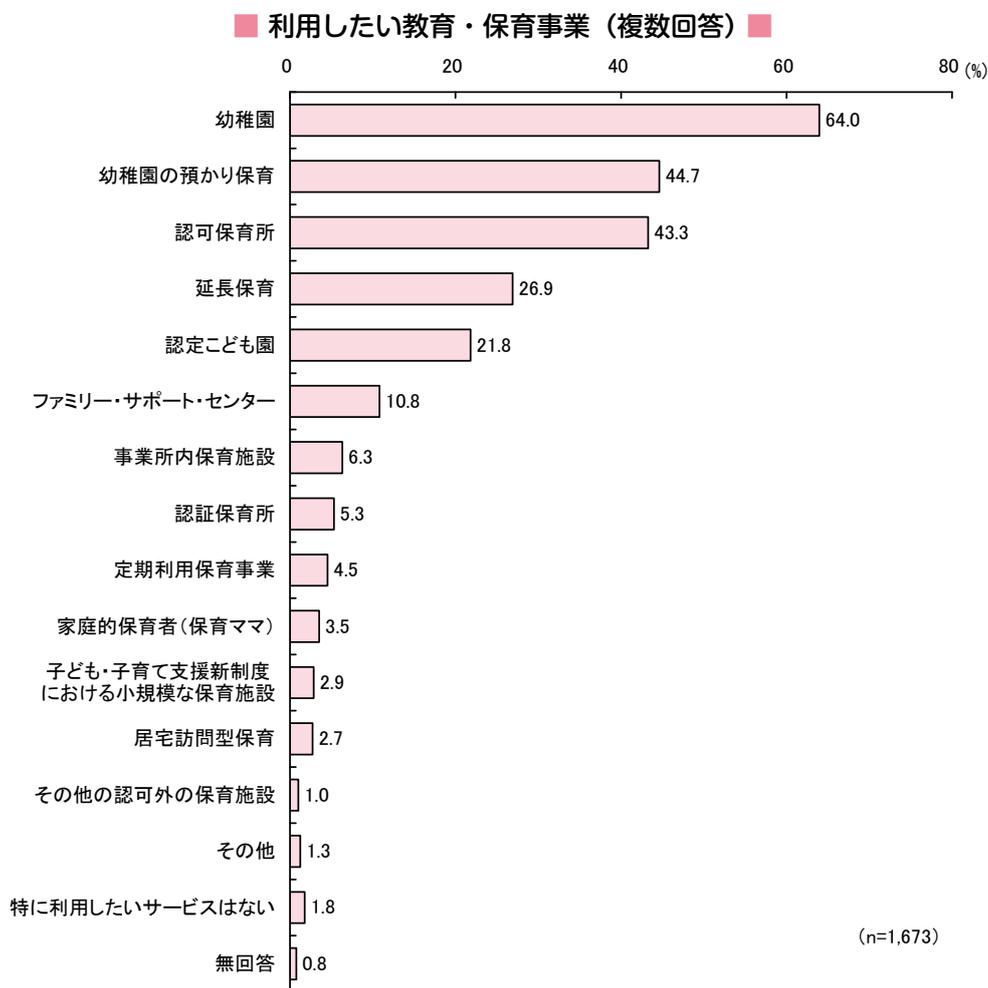
平日の教育・保育事業を「利用している」と回答した人の利用している事業をみると、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が最も多く 51.5%、次いで「認可保育所」が 39.4%、「幼稚園の預かり保育」が 8.8%と続いています。



資料：『町田市子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査報告書』2014年3月

ウ 利用したい教育・保育事業

利用したい教育・保育事業をみると、「幼稚園」が最も多く64.0%、次いで「幼稚園の預かり保育」が44.7%、「認可保育所」が43.3%と続いています。



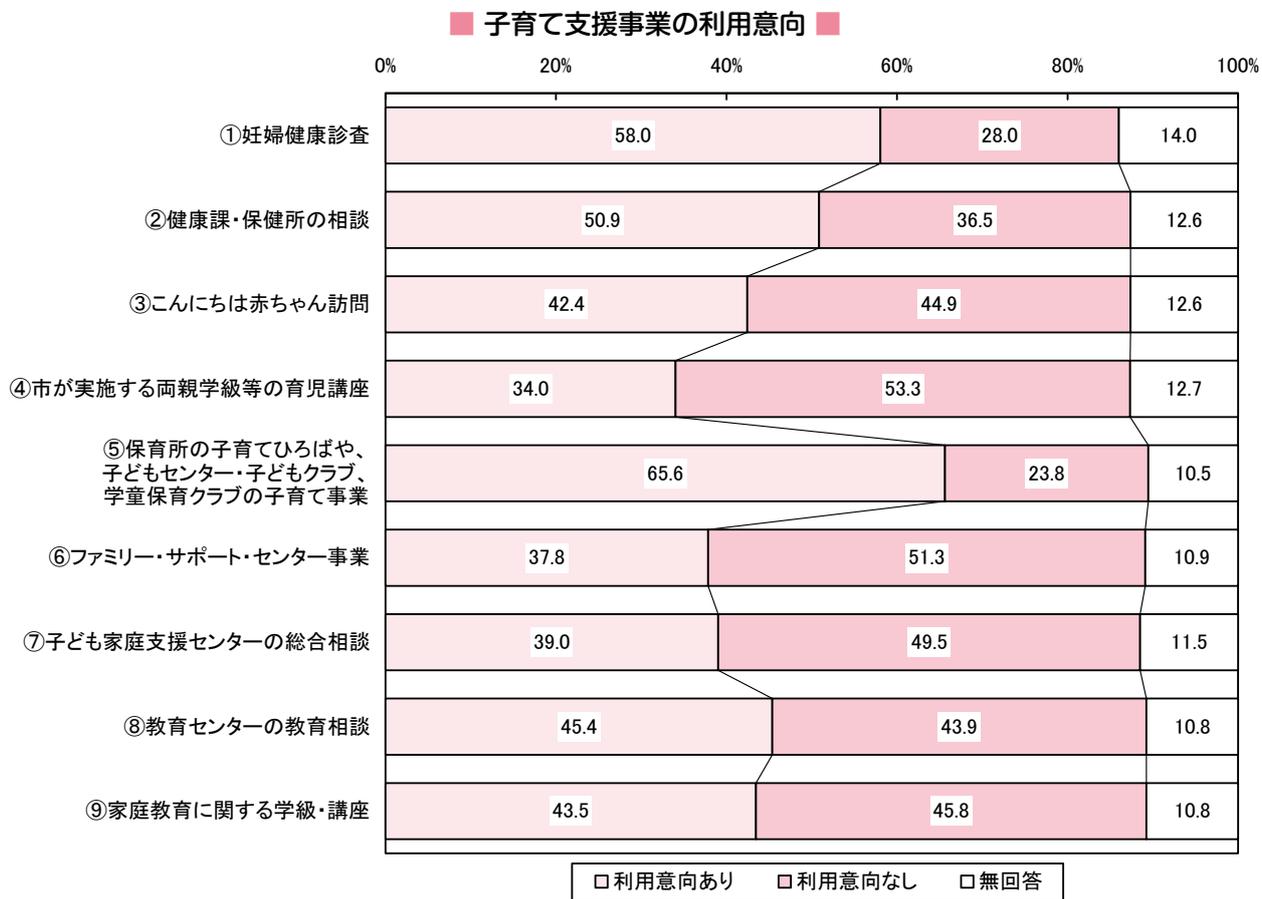
資料：『町田市子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査報告書』2014年3月

(単位：%)

区分	全体	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
件数(人)	1,673人	260人	257人	264人	323人	289人	280人
幼稚園	64.0	52.7	60.3	67.0	66.6	71.6	63.9
幼稚園の預かり保育	44.7	36.2	34.6	47.7	49.2	53.6	44.3
認可保育所	43.3	62.7	56.0	42.4	37.8	27.7	36.8
延長保育	26.9	32.3	29.2	27.7	24.8	22.8	25.7
認定こども園	21.8	30.8	25.7	20.8	20.1	18.3	16.4
ファミリー・サポート・センター	10.8	13.5	10.5	8.3	10.2	9.7	12.9
事業所内保育施設	6.3	8.5	7.0	6.1	5.3	4.2	7.5
認証保育所	5.3	13.5	6.6	4.9	3.1	1.7	3.2
定期利用保育事業	4.5	6.5	5.8	6.4	2.5	2.1	4.6
家庭的保育者(保育ママ)	3.5	9.6	3.1	2.3	2.2	1.7	2.9
子ども・子育て支援新制度における小規模な保育施設	2.9	5.8	3.1	2.7	1.5	1.7	2.9
居宅訪問型保育	2.7	3.5	3.9	3.0	2.5	2.1	1.8
その他の認可外の保育施設	1.0	1.9	1.2	1.1	0.9	0.7	0.4
その他	1.3	1.2	1.2	1.5	0.6	1.7	1.4
特に利用したいサービスはない	1.8	3.1	1.6	0.4	0.6	1.7	3.6
無回答	0.8	1.2	0.8	0.8	0.3	1.0	0.7

④子育て支援事業の利用意向（就学前児童）

子育て支援事業の今後の利用意向をみると、「⑤保育所の子育てひろばや、子どもセンター*・子どもクラブ*、学童保育クラブの子育て事業」が最も多く 65.6%、次いで「①妊婦健康診査」が 58.0%、「②健康課・保健所の相談」が 50.9%と続いています。



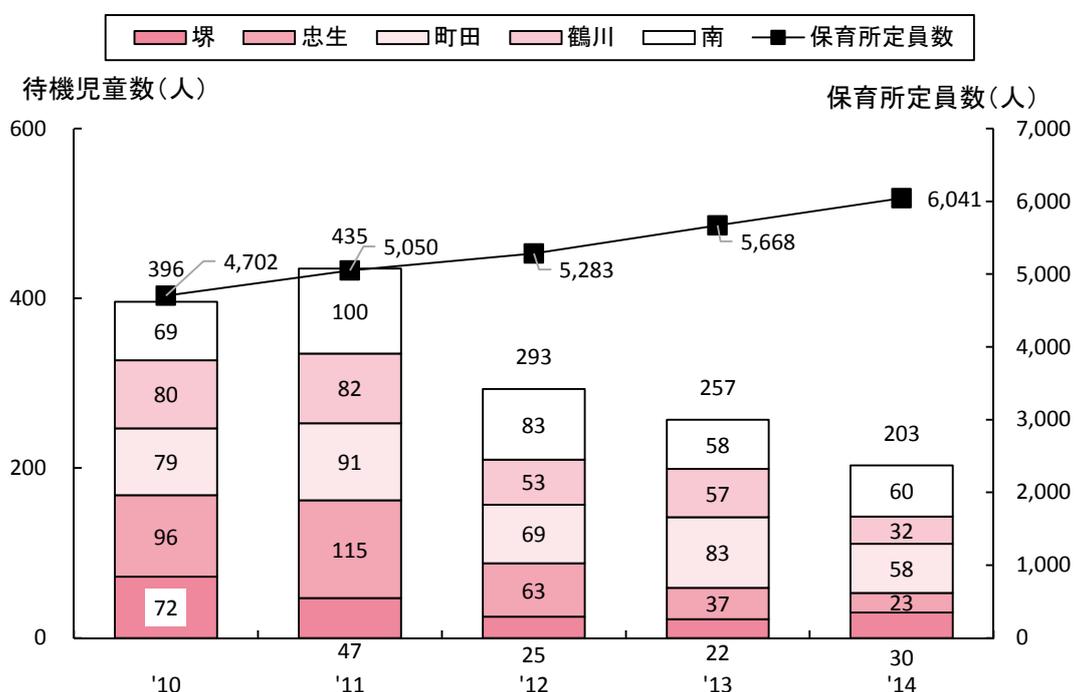
2. 教育・保育の提供状況

(1) 保育所待機児童数と定員数の推移

町田市の2014年現在における待機児童数は、203人となっています。同じく、保育所定員数は6,041人で、保育所の新設等による保育所入所定員数の増加に伴い、待機児童数は毎年減少傾向にあります。解消には至っていません。

地域別に待機児童数をみると、南地域が最も多く60人、次いで町田地域が58人となっています。年齢別にみると1歳児が最も多く57.1%を占めています。

■ 保育所待機児童数と定員数の推移 ■



(注) 各年4月1日現在である。

■ 地域別年齢別待機児童数 (2014年) ■

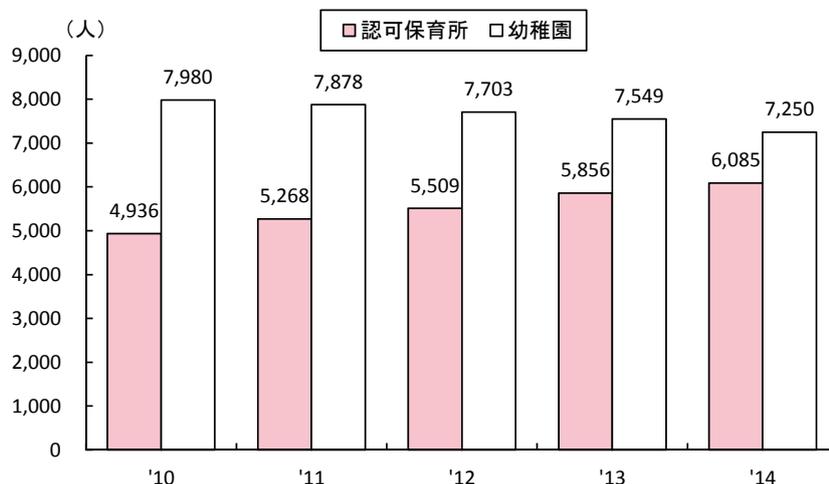
(単位：人、%)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
堺	2	19	7	2	0	0	30
忠生	5	7	11	0	0	0	23
町田	8	30	19	0	0	1	58
鶴川	1	18	10	1	1	1	32
南	6	42	7	2	2	1	60
市全体	22	116	54	5	3	3	203
年齢別割合	10.8	57.1	26.6	2.5	1.5	1.5	—

(2) 認可保育所と幼稚園在籍園児数の推移

町田市の2014年現在における保育所園児数は6,085人、幼稚園児数は7,250人となっており、毎年、保育所園児数が増加傾向であるのに対し、幼稚園児数は減少傾向となっています。

■ 認可保育所と幼稚園在籍園児数の推移 ■



(注) 認可保育所は各年4月1日現在、幼稚園は各年5月1日現在である。

(3) 人口と教育・保育施設の供給量(2014年4月1日)

町田市の2014年現在における人口と教育・保育施設の供給量をみると、市全体では、0歳児～3歳児までは、人口が供給量を上回っています。特に待機児童が多い1歳児で供給不足であるということが伺えます。その一方で、4歳児～5歳児は供給過多になっていることが伺えます。

5地域別にみると、忠生、町田、南地域において3歳児～5歳児への供給量が多くなっています。

【町田市全体】

(単位：人)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
人口(A)	2,952	3,274	3,374	3,686	3,786	3,777	20,849
供給量(B)	573	1,008	1,332	3,596	4,491	4,474	15,474
認可保育所	521	892	1,103	1,170	1,186	1,169	6,041
家庭的保育	7	37	35	0	0	0	79
認証保育所	45	79	79	57	23	21	304
幼稚園	0	0	115	2,369	3,282	3,284	9,050
ニーズ量-供給量(B-A)	▲2,379	▲2,266	▲2,042	▲90	705	697	▲5,375
教育・保育サービス提供率	19.4%	30.8%	39.5%	97.6%	118.6%	118.5%	74.2%
待機児童数	22	116	54	5	3	3	203

【堺地域】

(単位：人)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
人口(A)	406	439	470	515	542	499	2,871
供給量(B)	81	114	141	276	313	314	1,239
認可保育所	75	96	125	142	145	146	729
家庭的保育	0	6	4	-	-	-	10
認証保育所	6	12	12	4	3	3	40
幼稚園	-	-	-	130	165	165	460
二歳量-供給量(B-A)	▲325	▲325	▲329	▲239	▲229	▲185	▲1,632
教育・保育サービス提供率	20.0%	26.0%	30.0%	53.6%	57.7%	62.9%	43.2%
待機児童数	2	19	7	2	0	0	30

【忠生地域】

(単位：人)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
人口(A)	522	577	628	684	755	728	3,894
供給量(B)	127	247	380	798	1,070	1,062	3,684
認可保育所	125	244	305	308	310	302	1,594
家庭的保育	2	3	5	-	-	-	10
認証保育所	-	-	-	-	-	-	0
幼稚園	-	-	70	490	760	760	2,080
二歳量-供給量(B-A)	▲395	▲330	▲248	114	315	334	▲210
教育・保育サービス提供率	24.3%	42.8%	60.5%	116.7%	141.7%	145.9%	94.6%
待機児童数	5	7	11	0	0	0	23

【町田地域】

(単位：人)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
人口(A)	618	682	690	709	710	677	4,086
供給量(B)	96	195	278	695	911	895	3,070
認可保育所	83	172	213	222	241	226	1,157
家庭的保育	0	5	3	-	-	-	8
認証保育所	13	18	17	9	7	6	70
幼稚園	-	-	45	464	663	663	1,835
二歳量-供給量(B-A)	▲522	▲487	▲412	▲14	201	218	▲1,016
教育・保育サービス提供率	15.5%	28.6%	40.3%	98.0%	128.3%	132.2%	75.1%
待機児童数	8	30	19	0	0	1	58

【鶴川地域】

(単位：人)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
人口(A)	611	676	727	811	775	899	4,499
供給量(B)	115	207	232	741	892	896	3,083
認可保育所	96	164	201	210	211	213	1,095
家庭的保育	4	13	11	-	-	-	28
認証保育所	15	30	20	13	6	6	90
幼稚園	-	-	-	518	675	677	1,870
二歳量-供給量(B-A)	▲496	▲469	▲495	▲70	117	▲3	▲1,416
教育・保育サービス提供率	18.8%	30.6%	31.9%	91.4%	115.1%	99.7%	68.5%
待機児童数	1	18	10	1	1	1	32

【南地域】

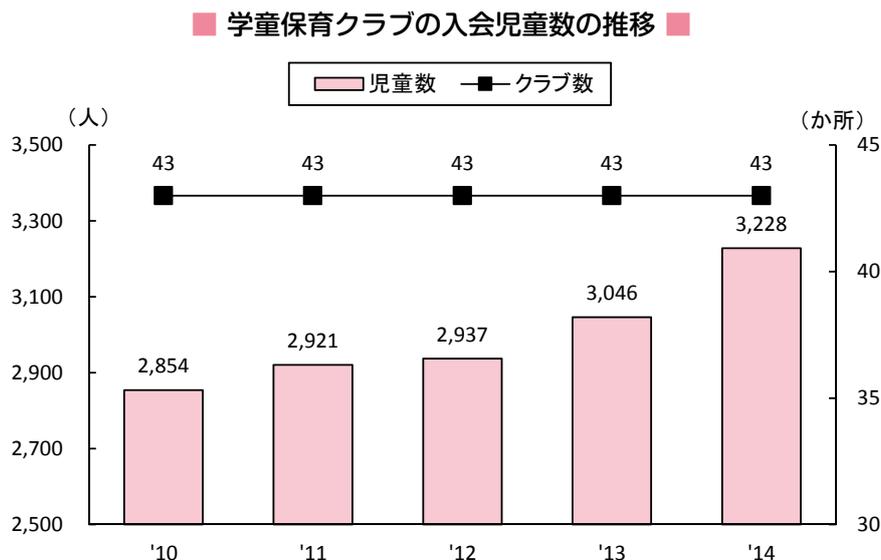
(単位：人)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
人口(A)	795	900	859	967	1,004	974	5,499
供給量(B)	154	245	301	1,086	1,305	1,307	4,398
認可保育所	142	216	259	288	279	282	1,466
家庭的保育	1	10	12	-	-	-	23
認証保育所	11	19	30	31	7	6	104
幼稚園	-	-	-	767	1,019	1,019	2,805
二歳量-供給量(B-A)	▲641	▲655	▲558	119	301	333	▲1,101
教育・保育サービス提供率	19.4%	27.2%	35.0%	112.3%	130.0%	134.2%	80.0%
待機児童数	6	42	7	2	2	1	60

(4) 学童保育クラブの入会児童数の推移

町田市の2014年現在における学童保育クラブ数は43か所、入会児童数は3,228人となっています。子どもの人口は年々減少していますが、入会児童数は増加傾向にあることが伺えます。

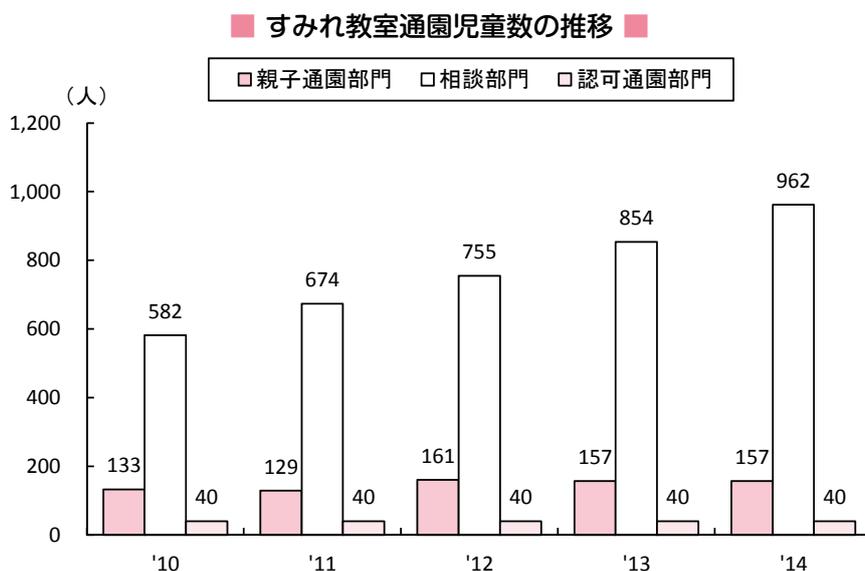
なお、町田市の学童保育クラブは、小学校1年生から3年生まで（障がいのある児童は6年生まで）の児童で入会基準を満たし、町田市が定める期間内に申請があれば、全員が入会できます。



(注) 各年4月1日現在である。

(5) すみれ教室通園児童数の推移

発達に遅れや心配のある就学前の乳幼児への支援を目的としている、すみれ教室の通園児童数は2014年現在で、親子通園部門157人、相談部門962人、認可通園部門40人となっており、相談部門は毎年増加傾向となっています。



(6) 特定12事業の事業実績

次世代育成支援対策推進法では行動計画の策定が義務付けられており、町田市では「町田市次世代育成支援対策推進後期行動計画*」で12事業についての目標事業量を設定し、取り組んできました。その実績は以下のとおりです。

事業名		区分 目標単位	目標値	実績値	
			2014年度	2010年度	2014年度
昼間帯	①通常保育事業				
	i) 認可保育所	か所 人	60 5,578	53 4,702	67 6,041
	ii) 家庭的保育者	か所 人	20 92	6 24	17 79
	iii) 認証保育所	か所 人	7 269	7 280	7 304
	iv) 保育室	か所 人	1 12	1 12	0 0
	②特定保育事業		—	—	—
夜間帯	③延長保育事業	か所 人	60 5,578	55 4,927	68 6,077
	④夜間保育事業		—	—	—
	⑤トワイライトステイ事業	か所 人	1 5	1 5	1 5
⑥休日保育事業		か所 人	1 20	1 20	1 20
⑦病児・病後児保育事業		か所 日数	4 4,704	4 4,704	5 5,000
⑧放課後児童健全育成事業		か所 定員(児童数)	43 3,665	43 2,854	43 3,228
⑨地域子育て支援拠点事業 (サロン型、ひろば型、センター型、児童館型)		か所	33	22	37
⑩一時預かり事業		か所 日数	39 57,330	35 30,880	44 90,250
⑪ショートステイ事業		か所 日数	1 438	1 438	1 438
⑫ファミリー・サポート・センター事業		か所	1	1	1